

旧核燃料試験研究施設の整備

(平成 15 年 9 月、見学会資料)



新保管庫（地下 1 ～ 2 階）の地上部分

(H15.9 撮影)

三菱マテリアル株式会社

1. 見学会ご参加の御礼

当研究所は、平成11年7月に「旧核燃料試験研究施設整備についての今後の計画」(以下「今後の計画」)を発表、これに基づきまして、施設P、施設E(既に解体完了。位置は下図ご参照下さい)の整備を進めて参りました。

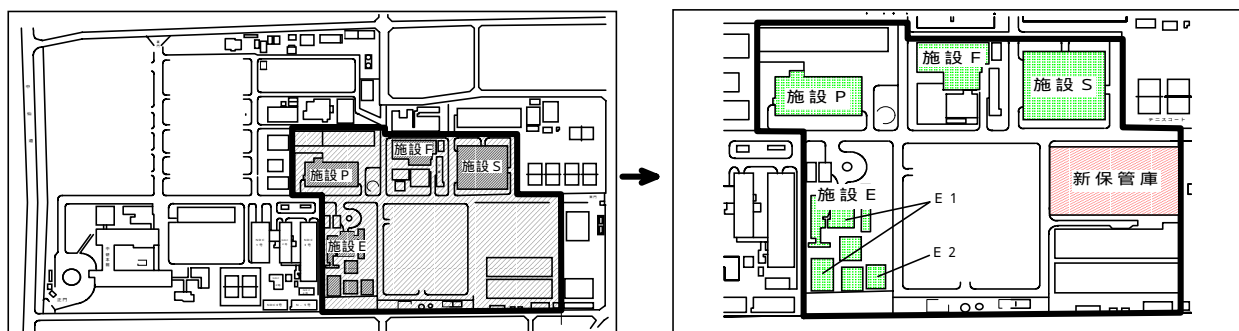
本年3月には新保管庫が完成し、現在、仮保管庫(施設F、施設S)に保管中の放射性廃棄物を、新保管庫へ移動中ではありますが、現行法が改正され、新保管庫から放射性廃棄物の持ち出し・処分が可能となるまで、相当時間がかかると思われまます。

つきましては、それまでの間、今年を第1回として、毎年、9月の「防災の日」の前後に見学会を実施し、管理状況をご覧頂きたく思っておりますので、今後とも、ご理解、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2. 整備施設の配置図

(研究所内配置図)

(保管庫周辺拡大図)



3. 整備作業の主たる経過

平成11年 7月	「今後の計画」発表
平成12年 3月	施設Fを仮保管庫として使用開始
” 5月	施設E内の埋設物によって汚染した土壌の回収完了
平成13年 7月	新保管庫を平屋建てから、地下保管庫への変更発表
” 11月	施設Sを仮保管庫として使用開始
平成14年 8月	施設E、施設Pの解体工事計画の説明会実施
” 10月	施設E解体(第一期工事。施設の3/4)
平成15年 3月	新保管庫完成
” 6月	施設P解体
” 7月	施設E解体(第二期工事。施設の1/4)

4. 各施設の解体前、解体後の状況

(施設E)

(解体前)



(解体後)



(施設P)

(解体前)



(解体後)



(セメント本館(新保管庫地上部))

(解体前)



(解体後)



(新保管庫内)

(地下1階)



(地下2階)



5. 今後の安全管理

長年月の保管に対応した管理体制として、次の表のとおり対応して参ります。

項目	内容	
放射線防護	コンクリートの厚い壁と床によって遮へいされます。	
地震対策	最新の耐震設計基準に基づいております。	
火災対策	自動火災報知設備、屋内消火栓及び連結散水設備を設置しております。	
日常管理	管理マニュアル作成	管理マニュアルを作成し、それに基づき管理を行ないます。
	管理区域の設定	保管庫内は放射線管理区域とし、入室する際は個人被ばく管理を行ないます。
	周辺監視区域の設定	地上部との境界を周辺監視区域境界とし、みだりに立ち入らないように管理します。
	放射線測定	管理区域内における放射線量を定期的に測定します。また、地上部の周辺監視区域境界においても放射線量を定期的に測定します。
	換気	給排気装置を運転し、保管庫内の空気の入れ換えを行ないます。
	点検作業	保管庫の状態及び放射性廃棄物の保管状態を定期的に点検します。
情報公開	相談室の常設	「近隣の皆様の相談室」は、引き続き設置し、各種お問合せにお答えしていくとともに、情報公開を行なって参ります。
	見学会開催	毎年、9月の「防災の日」の前後に、近隣の住民の皆様には保管状況を見て頂く見学会を行ないます。
確認事項	「放射性物質及び放射性廃棄物」の外部からの持ち込みは行ないません。	

6. 整備工事スケジュール

平成14年8月にご説明いたしましたスケジュールですが、現在までに完了した部分を で示します。「 」にて追記した部分につきましては継続して実施中で、工期が延びる予定ですが、詳細は別途説明会を開催し、ご説明申し上げます。

実施項目	年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
1 設備の解体・撤去						
2 一時保管場所の整備及び保管		整備(F棟) ↓ E/P F	一時保管 ↓ E/P F			F 新(開始)
3 施設E及びPの建屋内除染				↑ E/P S		S 新(開始)
4 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管		土壌回収			土壌回収	最終確認
5 施設E及びPの解体・撤去					E1	P E2
6 新保管庫の建設						P/E 新(完了)
7 新保管庫へ移動						

お問い合わせ先：三菱マテリアル株式会社

総合研究所「近隣の皆様の相談室」

電話 0120-662-637 (フリーダイヤル)

Eメール：ksoudan@mmc.co.jp

作成 平成15年9月3日